

事例 7 希少種ゴイシツバメシジミの生息環境の保全

(九州森林管理局 熊本南部森林管理署)



- ・ 熊本県球磨郡水上村 市房国有林
- ・ ゴイシツバメシジミ自然観察会
(令和 7 (2025) 年 8 月)



- ・ 熊本県球磨郡水上村 市房国有林
- ・ (左) ゴイシツバメシジミ
(令和 6 (2024) 年 8 月)
- (右) シシンラン
(令和 5 (2023) 年 8 月)

昭和 48 (1973) 年に熊本県で発見されたゴイシツバメシジミは、着生植物であるシシンランの花や蕾のみを食べて成長する小型のチョウです。生息地がごく限られ、絶滅危惧ⅠA 類および天然記念物に指定されています。

ゴイシツバメシジミの生息地の環境がシシンランの減少などにより悪化したことから、平成 9 (1997) 年度に「ゴイシツバメシジミ保護増殖事業計画」が策定され、これ以降、熊本南部森林管理署においてシシンランの増殖を通じたゴイシツバメシジミの生息環境の保全に取り組んでいます。

この取組では、倒木や落枝に着生していたシシンランの回収・育成を進めており、令和 7 (2025) 年度はそれまでに育成したシシンランのうち、プランター 57 個分を現地に移植しました。こうした取組により、移植したシシンランは順調に生育し、ゴイシツバメシジミの個体群の存続に貢献しています。

また、これらの希少種への理解を深めるため、地元小学生を対象に自然観察会を開催しています。今後も、生息環境の保全に取り組むとともに、自然観察会等を通じた地域住民への普及・啓発活動を続けていきます。